

■中井竹山 儒学者。(懷徳堂)の黄金期形成。松平定信諮問に超合理的經世論「草茅危言」献上し<寛政の改革>に影響。

なかいちくざん
・・・・・・1730＝ 大坂の懷徳堂の教授中井塾庵の長男に生まれる。中井履軒の兄。

享保大飢饉・1732＝ 2歳：

ｼﾌ船出没始 1739＝ 9歳：

__懷徳堂で、五井蘭洲に学び、

徳川吉宗隠居1745＝15歳：

忠臣蔵・・・・1748＝18歳：

徳川吉宗没・1751＝21歳：

源内物産会・1757＝27歳：
宝暦事件・・・・1758＝28歳：__父の死後、学問所預りとなり、懷徳堂の事務を担当。

大岡忠光没・1760＝30歳：

忠臣蔵大当り1766＝36歳：

田沼意次老中1772＝42歳：

黄表紙始・・・・1775＝45歳：

天明大飢饉始1782＝52歳：*懷徳堂院長となり、京坂儒学界の中心的位置を占め、懷徳堂を興隆させる。

意知刺殺事件1784＝54歳：__師蘭洲の「非物篇」の続篇として「非徴」を書き、併せて上梓。徂徠学に対する激しい排撃の書である。

田沼意次失脚1786＝56歳：

・・・・・・1788＝58歳：__松平定信が大坂巡視の折、招かれて講義、經世策を建議し、
初の横綱・・・・1789＝59歳：*国家の制度・風俗・經世万般の問題を論じた「草茅危言」10巻に結実、定信に献上した。荻生徂徠の「政談」
，太宰春台の「經濟録」と並ぶ、近世の經世論として高く評価されている。

ﾌﾗｽﾏﾝ来日・ 1792＝62歳：__大坂大火で懷徳堂は類焼し、
松平定信引退1793＝63歳：

__幕府の援助も少なく、

ﾌﾟｰﾄﾝ来航・ 1796＝66歳：__復興するも大幅に縮小してしまうが、

__幕府からの招聘には応じず、

伊能測量始・1800＝70歳：__徳川家康の一代記「逸史」を幕府に献納。
文章も巧みで「箕陰集」がある。

一九膝栗毛始1802＝72歳：__将来を囑望していた長男にも先立たれ、
ｲﾅﾉ来航・ 1804＝74歳：__失意のなか、没した。